



1994年(平成6年)高浜四面グラウンドより移ってきた「卸売市場球場」にお別れの時がいよいよきた。2017年(平成29年)3月、市場球場敷地に「野菜カット工場及び流通センター」が建設される話が飛びこんで来た。工事開始が8月よりとのことで、連盟内も対応に苦慮した。顧問の先生方と協力して善後策を協議し、当面〔フクダ電子グラウンド〕など確保し、秋季大会より移転することになった。

1994年(平成6年)より2017年(平成29年)の23年間〔少年野球のメッカ〕として数多くの野球少年の活躍の場所として君臨した。福田理事長は言う。“最初は4年間使用可能とのことでした”また同施設は、駐車場が完備・市場内にあるため安全性が確保されている・トイレなども完備・24時間営業のため時間の制約も少ない・野球事務所も併設・雨天対応するピロティがあるなど、恵まれた環境の中試合ができた。

第39回くりくり少年野球選手権大会で見事の采配で優勝に導いた打瀬ベイバスターズの濱田哲史監督は語る。「このチームが3年生の頃からお世話になった卸売市場球場が今夏に閉鎖となりました。これは京葉少年野球連盟、ひいては千葉の少年野球を取り巻く環境が日々厳しくなっていることを痛感する残念な出来事でした。しかし、昨年の高洲コンドルス、そして今回の我々打瀬ベイバスターズの優勝(千葉連覇)が、千葉の少年野球が注目されるきっかけに少しはなっていると思います。それが今後京葉少年野球連盟はじめ、千葉の少年野球のグラウンド環境の改善に繋がって行ければと、切に願うばかりです。」

8月27日(日)平成29年度教育リーグ 花園ライオンズ対磯辺トータスの試合をもって市場球場とお別れをした。当日の第一試合では 幕西ファイヤーズの皆様が「たくさん思い出ありがとう」という横断幕を作っていた。たいへんお世話になった市場場長を始めとする市職員の皆様・大塚さんを始めとする市場協力会の皆様・守衛室の皆様に深く感謝いたします。



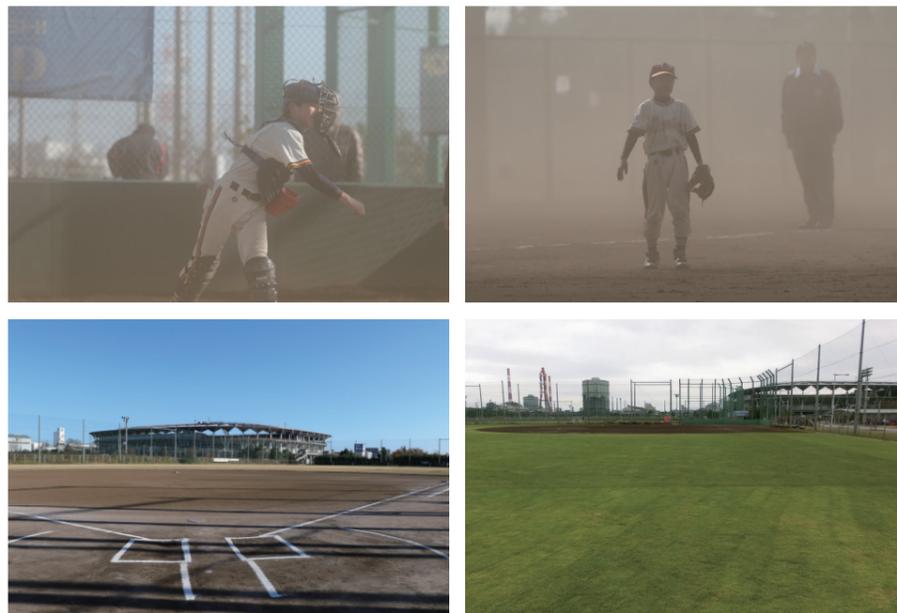
卸売市場球場・少年野球事務所





2017年(平成29年)第41回加藤旗争奪秋季大会より本格的に使用開始した「フクダ電子グラウンド」に思わぬ難敵が待っていた。秋から冬にかけて低気圧が日本海を通過すると、千葉では強烈な北風が吹く。永年使用していた市場球場でも砂塵がすごかったが、フクダ電子グラウンドでは全面土のため、もつと強烈な砂塵が吹きまくる。試合中の中断はしばしば発生。また顔や耳の中まで真っ黒。選手・指導者・審判・保護者の皆さんも困惑してしまう。

こんな状況を解決するため、平成30年4月より7月にかけて外野に天然芝を張るとになった。工事終了後、天然芝となりすばらしいグラウンドが完成した。



連盟40周年記念行事・祝賀会が2月5日 海浜幕張駅近く「ホテルグリーンタワー・幕張」で御来賓・関係者約190人の皆様にご出席いただいて開催した。式典では、毎年開会式ですばらしい演奏をいただいている千葉県立磯辺高校吹奏楽部の皆様にご挨拶が贈られた。

祝賀会では、水野副理事長さんを中心とする〔津軽三味線〕などのアトラクションや高洲コンドルスが優勝したくりくり大会の優勝旗・優勝カップなども展示された。また祝賀会の最後では、柴草常任理事の音頭で「家庭には愛情・会社には繁盛・野球には友情」の3情締めて さらなる前進をみんなで誓った。

京葉少年野球連盟40周年
さらなる前進誓う

千葉市や周辺地域の少年野球チームで構成する京葉少年野球連盟の創立40周年記念式典・祝賀会が5日、千葉市美浜区内のホテルであり、関係者ら約190人が出席した。門山宏哲会長(衆院議員)は「40年という

福田理事長

創立40周年記念式典であいさつする、京葉少年野球連盟の福田順一理事長(千葉市美浜区)

のは大変な積み重ね。これからも、明日を担う青少年の健全な育成に努めたい」などあいさつ。

続いて登壇した福田順一理事長は、連盟の礎を築いた初代理事長の故加藤正三氏に向けて「加藤さん、40年たったぞ!と呼びかけ、今後は50年、60年と連盟がさらに前進するよう頑張っていくたい」などと述べた。

同連盟は「明日を担う青少年の健全な育成と少年野球の原点を見据える」という理念の下、1976年秋に千葉市や東京都などの6チームで誕生。現在では約50チームが加盟する県内有数の少年野球連盟となっている。

【千代崎聖史】

京葉少年野球連盟 連盟表彰

年度	表彰理由	表彰者
創立 10周年	連盟の運営に直接携わり 連盟の発展に貢献	加藤正三・中村忠明・内野聖三・高見和士・ 黒澤章
	連盟の運営に協力し連盟の発展に貢献	福田順一・古山嗣雄・菅澤傳・斉藤勝美・ 寺岡義則・関輝夫・谷岡正澄・林辰一・三上政美
	連盟発足以来献身的な協力により 連盟の発足に寄与した内助の功は偉大	加藤菊代(加藤正三氏夫人)
	毎日新聞社表彰	大野行男・溜照雄・松村清己
創立 20周年	永年功労者として	今村富男・寺岡義則・西牧仁・林辰一・溜照雄・ 谷岡正澄・大野敏彦・梅田賢二・原通男・藤平靖生
創立 30周年	連盟の運営に協力し発展に貢献した団体	千葉県立磯辺高校吹奏楽部・ 高洲コンドルス・幕西ファイヤーズ
	くりくり少年野球選手権大会 連盟代表として初優勝の偉業	みつわ台スラッガーズ
創立 40周年	連盟の運営に協力し 発展に貢献した団体	千葉県立磯辺高校吹奏楽部



第43章

やってくれましたくりくり2連覇 打瀬ベイバスターズ 創立15年目悲願の初優勝

2017年・平成29年



くりくり2連覇。打瀬ベイバスターズがやってくれました。

2017年・平成29年、7月28日より31日の4日間、埼玉県所沢市『メットライフドーム』でおこなわれた第39回くりくり少年野球選手権大会で打瀬ベイバスターズが優勝し、昨年の高洲コンドルスに続き2連覇しました。

第38回くりくり少年野球選手権大会 2016年・平成28年

出場チーム：高洲コンドルス【優勝】

2
回
戦

打瀬ベイバスターズ 5-2 小金井ビクトリー (小金井)

バッテリー 上田・八島・高橋⇒藤平
長打 山本・藤平(三塁打)・吉本(二塁打)

3
回
戦

打瀬ベイバスターズ 3-1 大宮パワーズ (大宮)

バッテリー 山本・高橋・上田⇒藤平
長打 渡辺(二塁打)

準
々
決
勝

打瀬ベイバスターズ 8-7 下川ライオンズ(群馬)

バッテリー 田上・星川⇒名古屋
長打 藤平・山本(二塁打)

準
決
勝

打瀬ベイバスターズ 7-0 成田オーシャンイーグルス(宮城)

バッテリー 山本・高橋⇒藤平
長打 アグレザット・上田(三塁打)・高橋(二塁打)

序盤から相手の凄まじい攻撃に合い5点差を追う展開となってしまった。誰もがこの大会もここまで思ったが、今日のベイバスターズは違っていた。5回裏の攻撃、一死より連続安打で2点返し、二死走者なしより四球や連打を放ち5点を追加し逆転。6回の表、下川に1点を与え同点。しかしその裏1点を獲得し逆転勝ち。





くりくり少年野球選手権大会

優勝した打瀬ベイバスターズ

第39回くりくり少年野球選手権大会が7月28日から31日まで埼玉・所沢市の西武ドームで行われた。大会には東京、埼玉、神奈川、千葉、茨城、北海道、愛知などから40チームが出場。千葉県からは京葉少年野球連盟春季大会Aゾーン優勝の打瀬ベイバスターズが出場し、2回戦から熱戦を繰り広げた。

ベイバスターズ快勝

千葉代表2年連続3回目

39回くりくり少年野球選手権大会が7月28日から31日まで埼玉・所沢市の西武ドームで行われた。大会には東京、埼玉、神奈川、千葉、茨城、北海道、愛知などから40チームが出場。千葉県からは京葉少年野球連盟春季大会Aゾーン優勝の打瀬ベイバスターズが出場し、2回戦から熱戦を繰り広げた。



濱田 哲史 監督 「固い握手の感触は、決して忘れない」

皆様、この度は第39回くりくり少年野球選手権大会出場に際し、多大な御支援を賜りましたこと厚くお礼申し上げます。お蔭様でチームとしては3回目にして初優勝、千葉県勢としては昨年に続き2年連続優勝という最高の成績を収めることができました。出場が決まった当初、私は喜びに浸る一方で「千葉県勢連覇・チーム初優勝」という重圧が掛かり「大変な大会に出てしまった」という思いにもわれました。しかし選手がこの大舞台で「ベイバス旋風」を巻き起こしてくれるのではないかとという予感も少し持っていました。

そして いよいよ7月28日から始まったくりくり大会。大会序盤は緊張感からくるミスや噛み合わない投打をなかなか修正できず、初戦(2回戦)は5対3、3回戦は3対1と非常に苦戦しましたが悪いなりに凌ぎ切りました。そして迎えた準々決勝「下川ライオンズ」さんとの一戦。序盤から6点差を背負う苦しい展開のまま5回

裏、一死から連続適時打で2点を返し、その後二死走者無しから四球と連打で更に5点を追加し逆転。6回の裏に同点とされたがすぐさま裏に1点を取りサヨナラ勝ちを収めました。この勝利でチームは完全に勢いづき、翌日の準決勝は7対0ののこールド勝ち。決勝戦は5対0の完封勝ちと前日迄とは打って変わって危ない闘いぶりて一気に頂点まで登りつめました。

3日間で5試合という厳しい日程を克服し優勝出来たのは選手の奮闘は勿論のこと、準備万端な後方支援の選手保護者の皆さん、現地に駆けつけてくれた在部生の声援、OBの皆様から過去の経験を踏まえた支援やアドバイス、京葉少年野球連盟や多くの人のサポートが無ければこの勝利はなかったと感謝の念が絶えません。勝利を重ねる毎に、明らかに握る手に力が増していき皆様との握手。大会が終わった今も強く残っており、これからも決して忘れることはないでしょう。



優勝した打瀬ベイバスターズは8月5日毎日新聞千葉支局、8月9日熊谷千葉市長、門山連盟会長に優勝報告をした。

毎日新聞の報道によれば「全国の小学生球児が熱戦を繰り広げた第39回くりくり少年野球選手権大会に千葉代表として出場し、初制覇した千葉市美浜区の打瀬ベイバスターズが5日毎日新聞千葉支局を訪れ優勝を報告した。大会は先月28日から埼玉県所沢市のメットライフドームで開かれ、各地の予選を勝ち抜いた40チームが出場。打瀬ベイは31日の決勝で東京都大田区の池雪ジュニアストロングを5-0で破り、全国約1200チームの頂点に立った。県勢の優勝は2年連続。

八島優生主将（海浜打瀬小6年）は『親やコーチたちの支えに感謝したい。優勝を一つの通過点として次のステップに向かって頑張る』とあいさつ。濱田哲史監督は『慣れていない球場で一日2試合ずつという過激な戦いだつたが、やり抜いた選手たちは頼もしかった』とたたえた。

また9日千葉市役所を訪れ、熊谷俊人市長に優勝を報告した。熊谷市長は『準々決勝で6点差をひっくり返して勝ったのはたいしたもの』と選手たちをたたえた。その後門山会長の事務所を訪ね優勝報告した。



くりくり少年軟式野球連合会の行事の中に『都市対抗野球×くりくり少年野球IN東京ドーム』がある。毎年春、くりくり少年野球を応援するため〔毎日新聞・スポーツニッポン新聞読者の輪を広げる運動〕を展開し、加盟クラブに新聞購読のお願いしております。その運動の一環で、毎年夏東京ドームで開催されている都市対抗野球大会の期間中子供たちに抽選ではありますがあこがれの東京ドームで試合をさせてもらえます。

当連盟では、2014年磯辺シーグルス・2015年幕西ファイヤーズ・2016年袖ヶ浦ボーイズ・2017年幕西ファイヤーズ、2018年高洲ストロングスが出場しております。2017年出場した幕西ファイヤーズ・木内健太郎君は、その感想を「初めて入った東京ドームのベンチ。そしてプロ野球の選手たちが使っているふだんはふめない人工芝のグラウンドに立った。緊張しながら守備をした。バッターボックスに入った時は、高なる胸のこどろを感じた。緊張する皆んな、興奮する僕、すべてが特別であった。“僕はいつかこのグラウンドで試合をするようになりたい。” そう強く心に誓った自分がいた。十数年後再びこのグラウンドの上でのびのびとプレーする自分を夢みて、明日から日々の努力をおこたらずがんばりたい。あこがれの東京ドームで試合ができたということが強く自分の思い出に残る一日となった。」

また 今井慶君は「ぼくは、東京ドームで試合をしました。東京ドームはものすごく広くて、ピッチャーに声をかけた時は、ドーム全体に声が響きいてすごいと思いました。東京ドームは、プロの人達が実際にプレーしているので、打席に立つ時や守備につく時とてもきん張りました。東京ドームの地面は、人工芝でさわった時の感じよくがとても気

持ち良かったです。打席では、2打席の内1回ヒットを打てました。東京ドームでのヒットだったので、いつもの何倍もうれしかったです。結果は4-5で負けました。でもやったこと自体はすごくたのしかったし 初めてベンチに入ったのでとてもいい経験だったと思います。また東京ドームで試合がしたいです。」と振り返った。試合後、都市対抗野球を観戦した。



また くりくり少年軟式野球連合会では、くりくり大会の最終日、準決勝と決勝戦の間を使って4年生以下のチームがメットライフドームを経験できる『くりくりジュニアマッチ』も開催されている。当連盟では、2014年打瀬ベイバスターズ・2015年大森フライヤーズが出場した。

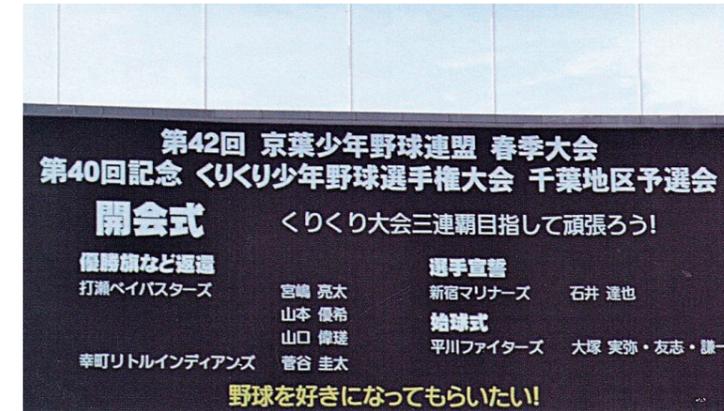


「第19章「京葉は一步前へ」ネット化に挑戦」でも触れたように連盟では数多くの試合写真・行事写真など撮影してきました。その写真の有効活用できないかと常に考えておりました。各家庭でのインターネット及びスマホの普及の時代「YouTube」を活用した試合の様子の配信を試行錯誤の末、2012年(平成24年)、第37回春季大会より全国の野球連盟に先駆けて配信開始いたしました。清水事務局長は「毎試合2500枚から3000枚の写真を撮ります。その中から子供達の素晴らしい写真を120枚ほど選び15分のスライドショーにいたします。出来るだけ試合チームを平等に、エラーの写真は使用せず、笑顔や素晴らしいプレーを選択しています。」と苦労話を話す。開始後『タイで見ている。南太平洋の洋上で見た』などうれしい話も飛び込んで参りました。また撮影した生データをDVDに落とし、試合チームにプレゼントしており保護者の皆様より好評をいただいております。そして閉会式での『グッドプレー賞表彰』・『くりくり大会のPR』などに活用しております。2019年(令和1年)第43回秋季大会より『京葉グッドプレー賞』として各試合ごとA4写真のプレゼント開始いたしました。



第46章 連盟標語『野球を好きになってもらいたい』制定

2012年・平成24年



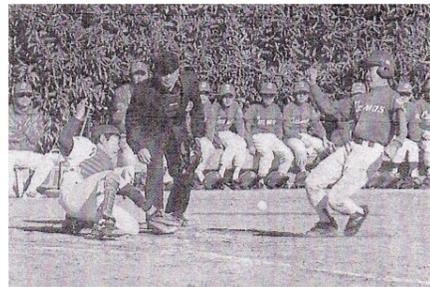
懐かしの先輩たち



加藤 正三氏



福田 順一氏

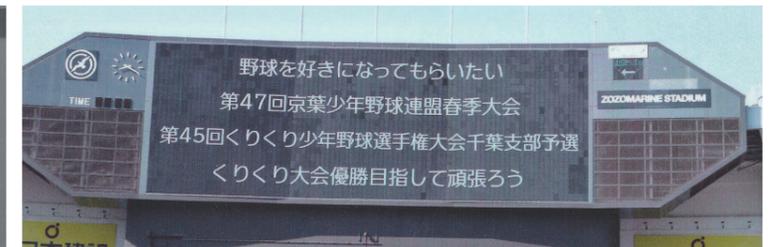
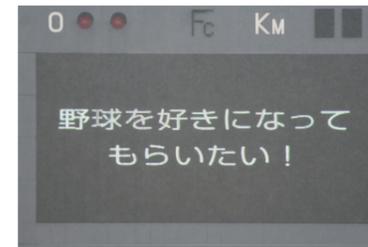


森永 侑作氏



西牧 仁氏

京葉少年野球連盟の設立当時の理念は「明日を担う青少年の健全な育成と少年野球の原点を見据える」である。2012年（平成24年）秋、この理念を日常活動でもっと端的にアピールできる方法がないかとの提案があった。連盟役員で協議の末、『少年野球の原点＝野球を好きになってもらいたい』ではないかとの結論に至った。子供たちの中から選抜してチームを作る昨今であるが、京葉ではエリートはいらない。小学校卒業までチーム全員で野球を続けてほしい。いっぱい良い思い出を作ってほしい。との願いを込めてこの標語を2015年（平成27年）春季大会より正式に使用することとなった。2019年（令和1年）横断幕の原型が完成し、福田理事長・森永氏・清水事務局長で文字に塗色した。いつまでも少年野球の原点を忘れない運営に心がけたい。



1976-85

1986-95

1996-2005

2006-15

2016-25



第41回くりくり少年野球選手権大会が7月22日よりメットライフドームで開催された。今回の出場は初出場「小中台JBC」。

試合前 磯山監督は「主将の野口、エースの中村を中心に千葉予選をチーム一丸となり、攻守共に攻め続け、一戦ごとに力をつけてきました。千葉代表として誇りを持ち、楽しく一戦一戦全力でのぞみます。」と語った。

7月23日の初戦、菱・境野子供会野球部（群馬）との試合。三星側応援団は大勢の皆さんが駆けつけてくださいました。試合も序盤2点リードしていたが同点に追いつかれ緊迫したゲーム展開となった。



7回終了。同点のまま特別延長戦に突入。応援団の皆さんも熱のこもった応援。8回表、2点先取。これで勝利を確信したが、8回裏 相手に3点本塁打を浴び、まさかの敗戦となってしまった。でも選手・応援団一丸となって大会に参加してくれました。試合後磯山監督は「京葉リーグ代表としてのぞんだ大会でしたが結果として初戦で敗れてしまい申し訳ありません。なお 選手・指導者・保護者・後輩選手皆、大変貴重な経験をさ

せていただきJBCチーム全体としては本当に感謝しています。この貴重な経験、悔しさを糧に選手ともに頑張っていきます。」と語った。

熱く燃えたメットライフドームの一日は終わりとなりましたが少年野球らしく素晴らしい感動をいただきました。「小中台JBC」の皆様 お疲れ様でした。



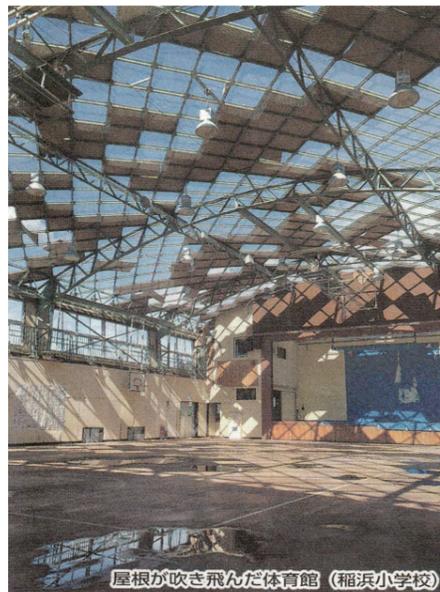
2019年・令和元年9月



台風15号は令和元年9月9日午前5時前に千葉市付近に上陸した。中央区では最大瞬間風速57.5メートルが観測され、千葉市だけでも600棟を超える住宅が損傷や浸水の被害をうけ、最大約9万4000所帯が停電した。房総半島全体に強風による住宅屋根の損傷や倒木などによる停電で大きな被害を受けた。特に電気はすべて復帰するに2週間もかかってしまった。

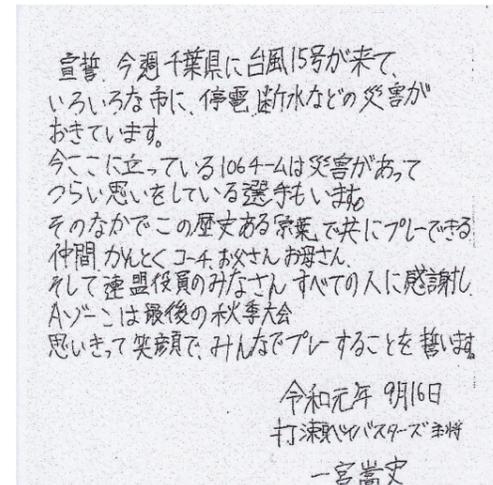
普段、試合にお借りしている「花輪球場」・「仁戸名球場」・「打瀬3丁目公園球場」なども施設の損傷が発生した。1週間後、9月16日 秋季大会の開会式が予定されていたが、またもの雨で中止となってしまった。

天災などによる募金活動は、2011年の東日本大震災・2016年の熊本地震に次いで3回目の取り組みとなった。



屋根が吹き飛んだ体育館 (稲浜小学校)

開会式に選手宣誓をすることになっていた打瀬ベイバスターズの一宮主将は残念そうに選手宣誓の言葉を教えてくれた。



連盟では何とか支援できないかとの事で、今までの東日本大震災や熊本地震の際の募金活動の経験から今回「ガンバレ千葉」の募金活動を秋季大会期間中行う事になった。募集のポスターも完成し、12月22日の秋季大会閉会式まで募金活動をおこなった。



台風15号被害
義援金を寄託
京葉少年野球連盟
京葉少年野球連盟
(福田順一理事長)は25日、今年9月の台風15号による甚大な災害に対する義援金として4万329円を毎日新聞千葉支局に寄託した。義援金は毎日新聞東京社会事業団を通じて千葉県などに送られる。



「部員・指導者・父母を含めて、子供らしいマナーを実践してくれたチームを目に見える形で表彰しよう」の主旨で2003年・平成15年第28回春季大会より表彰開始した『グッドマナー賞』。「マナーのみならず幅広く少年野球らしい活動実践したチーム」を表彰しようと令和元年・2019年第43回秋季大会より『京葉連盟賞』として表彰することになりました。

京葉連盟賞 受賞チーム

(敬称略)

年度	大会名	受賞者	指導者	主な受賞理由
2019年 (令和元年)	第43回秋季大会	あすみが丘ゴールデンスターズ	A 畑山 優	Oneteamとしての優勝
	第38回卒部大会	仁戸名ファミリーズ	A 大井 裕二	ファミリーとしての活動
2020年 (令和2年)	第44回春季大会	【コロナ禍のため大会中止】		
	第44回秋季大会			
	第39回卒部大会			
2021年 (令和3年)	第45回春季大会	ミヤコリトルベアーズ	A 久我 考明	悲願の初優勝
	第45回秋季大会	選定せず		
	第40回卒部大会	【コロナ禍のため大会中止】		
2022年 (令和4年)	第46回春季大会	選定せず		
	第46回秋季大会	選定せず		
	第41回卒部大会	選定せず		
2023年 (令和5年)	第47回春季大会	選定せず		
	第47回秋季大会	磯辺シャークス	A 小池 貴昭	優秀な成績
	第42回卒部大会	幸町リトルインディアンズ	A 大森 隆史	優秀な成績

令和元年・2019年 第43回加藤旗争奪秋季大会

受賞チーム	あすみが丘ゴールデンスターズ Aチーム
指導者	畑中 優 監督
受賞理由	チーム関係者・保護者一体となったOneteamとしての応援及び大会試合運営に対する自発的な協力。



受賞指導者コメント 畑中 優 監督

この度は、京葉連盟賞という光栄な賞をいただき、大変ありがとうございました。チームとして試合ではなかなか勝てず、苦しい時期が長く続きました。しかし、選手たちは誰一人として諦めず、いつかは勝ると信じてついてきてくれました。また、チーム保護者の皆様もどんな苦境になっても選手と我々を励まし続けてくれました。そして日々追うごとにチームの絆は深まり、京葉秋季大会にはチーム関係者、卒部生、入部

前の子供たちまでの集まり、大声援を送ってくれました。本当に心強く、優勝の原動力といっても過言ではありません。この京葉連盟賞は、選手、保護者、指導者、チーム関係者がまさしくOneteamとなって闘う姿勢にいただいた名誉ある賞だと思います。この感激を少年野球で終わらせることなく、社会の中でも活用していきたいと思います。ありがとうございました。





オリンピックイヤーの2020年（令和2年）、前年12月ごろ中国・武漢で発生した「新型コロナウイルス」が春節で訪れた中国人観光客とともに日本にも上陸した。横浜港ではクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス号」で集団感染が発生し、4000人ものが上陸できず舟に留まった。2月27日、政府より『小学校2週間臨時休校』との要請も出され、3月3日より3月16日まで臨時休校となった。

同時に各クラブでの練習も自粛された。当連盟でも3月8日に開催された抽選会、子供達の参加は見送られ、各クラブ大人1人のみの出席とし、マスク着用の異例の会となった。また3月12日には千葉市内小学校が23日まで臨時休校が延長されたため、3月21日・22日にZOZOマリンで開催予定の開会式、試合も残念ながら中止となってしまった。

その後蔓延は衰えず、4月7日政府より「緊急事態宣言」が出され、その後も小学校も臨時休校が再延長されたりし、影響は令和5年まで続いた。

コロナ禍で影響を受けた大会など

年次	大会名	状況
2020年 (令和2年)	第44回春季大会兼第42回くりくり大会千葉予選	中止
	令和2年度教育リーグ	中止
	第42回くりくり少年野球選手権大会	中止
	第44回加藤旗争奪秋季大会(A・Bゾーン)	途中で中止
	第39回卒部記念大会	中止
	令和2年度審判講習会 令和3年度教育リーグ	途中で中止
2021年 (令和3年)	第43回くりくり少年野球選手権大会 ⇒ 2021年交流試合型式にて開催	形式変更
2022年 (令和4年)	令和3年度審判講習会	延期
	第40回卒部記念大会	中止
2023年 (令和5年)	令和4年度審判講習会	中止



2020年・令和4年、3月5日の定期総会で「若獅子旗」が門山会長より土許理事長に手渡された。この「若獅子旗」は春季大会Bゾーン2本目の優勝旗となる。

古来中国では「獅子」は力強く勇猛に突進する動物にたとえられている。将来のある5年生が「獅子」のごとく成長することを祈念し新設された。



大会別 優勝旗 一覧

大会名	ゾーン	優勝旗
春季大会	Aゾーン	連盟優勝旗 毎日新聞社旗
	Bゾーン	連盟優勝旗 若獅子旗
秋季大会	Aゾーン	連盟優勝旗 加藤旗
	Bゾーン	連盟優勝旗 アサヒフレンド旗
	Cゾーン	連盟優勝旗 朝日会旗
卒部記念大会	—	連盟優勝旗

第52章

新生「くりくり少年野球選手権大会」誕生

2022年・令和4年



川口市民球場

第1回大会(1979年・昭和57年)より西武球場・西武ドームでおこなわれていた『くりくり少年野球選手権大会』諸般の事情で今年度(2022年・令和4年)より大田スタジアム他5球場で開催された。

参加チームは40より24チームに減少したが、トーナメント形式の大会は3年ぶりの開催となった。

第44回くりくり少年野球選手権大会 使用球場

月日	大会	使用球場	場所
8月1日	開会式・1回戦	大田スタジアム	東京都・大田区
	1回戦	大井ふ頭中央海浜スポーツの森	
2日	2回戦	下高井戸運動場野球場	東京都・杉並区
3日	3回戦	上高田運動施設野球場	東京都・中野区
4日	準決勝・決勝	川口市営球場	埼玉県・川口市

翌年の第45回の開会式は東京ドームにて開催された。これは都市対抗野球大会が同球場でおこなわれている早朝グラウンド提供を受け実施された。



また、2025年・令和7年、第47回大会より千葉支部がZOZOマリンスタジアムの確保に協力し、8月1日、準決勝・親善試合・決勝戦 ZOZOマリンスタジアムで開催された。その功績により今大会より2チームの出場となった。



第53章

秋季大会 磯辺シャークス 3ゾーン完全制覇 11年ぶり2回目の偉業達成

2022年・令和4年



第35回 加藤旗争奪 秋季大会 (2011年・平成23年)

ゾーン	試合	試合結果
A	1回戦	磯辺シャークス 5-4 朝日ヶ丘フェニックス
	2回戦	磯辺シャークス 3-1 稲丘ベアーズ
	3回戦	磯辺シャークス 1-0 勝田台リトルジャガーズ
	準々決勝	磯辺シャークス 9-2 千葉ヤンキース
	準決勝	磯辺シャークス 2-0 高浜コスモス
	決勝戦	磯辺シャークス 3-1 高洲コンドルス 投手:萩津 雄大⇒田中 光/捕手:北田 章人/2塁打:和田 恵登・北田 章人
B	1回戦	磯辺シャークス 13-0 みつわ台ホープス
	2回戦	磯辺シャークス 17-0 朝日ヶ丘フェニックス
	3回戦	磯辺シャークス 11-1 稲丘ベアーズ
	準々決勝	磯辺シャークス 9-1 瑞穂イーグルス
	準決勝	磯辺シャークス 4-2 四街道ブルースターズ
	決勝戦	磯辺シャークス 5-1 打瀬ベイバスターズ 投手:林 駿介⇒小橋 裕也⇒大川 航希⇒合阪 諒/捕手:高木 翔己 3塁打:高木 翔己/2塁打:合阪 諒
C	2回戦	磯辺シャークス 15-0 幕西ファイヤーズ
	準々決勝	磯辺シャークス 7-0 新浦安ドリームスター
	準決勝	磯辺シャークス 9-1 高洲コンドルス
	決勝戦	磯辺シャークス 11-1 さつきが丘ファイターズ 投手:門脇 郁也/捕手:小池 柊稀/3塁打:門脇 郁也

第46回 加藤旗争奪 秋季大会 (2022年・令和4年)

ゾーン	試合	試合結果
A	2回戦	磯辺シャークス 6-4 四街道ブルースターズ
	3回戦	磯辺シャークス 4-1 千城台レッドシャーク
	準々決勝	磯辺シャークス 5-4 打瀬ベイバスターズ
	準決勝	磯辺シャークス 2-1 大森フライヤーズ
	決勝戦	磯辺シャークス 9-8 磯辺シーグルス 投手:山崎 貴太⇒八田 朝陽⇒金子 聡真⇒山本 俊介 捕手:坂本 颯⇒山崎 貴太
B	2回戦	磯辺シャークス 11-0 いなげパイレーツ
	3回戦	磯辺シャークス 10-0 大森フライヤーズ
	準々決勝	磯辺シャークス 8-1 幸町リトルインディアンズ
	準決勝	磯辺シャークス 8-1 幕西ファイヤーズ
決勝戦	磯辺シャークス 7-2 武石ブルーサンダー 投手:二田章裕⇒八田朝陽⇒洞口孝介 捕手:横山輔	
C	2回戦	磯辺シャークス 6-0 磯辺シーグルス
	準々決勝	磯辺シャークス 6-0 みつわ台スラッガーズ
	準決勝	磯辺シャークス 9-2 花園ライオンズ
	決勝戦	磯辺シャークス 7-0 真砂シーホークス 投手:上村 裕之⇒金丸 寛知 捕手:山崎 拓人

1976-85

1986-95

1996-2005

2006-15

2016-25

第105回記念全国高校野球選手権大会
慶応高校107年ぶり優勝
京葉球児2名 優勝に貢献

2023年・令和5年

第105回記念全国高校野球選手権大会は8月23日、兵庫県西宮市の阪神甲子園球場で決勝戦があり、慶応高校（神奈川）が8-2で仙台育英（宮城）を破り、1916年（大正6年）の第2回大会以来107年ぶり2度目の優勝した。

同チームには先輩2名が所属し、優勝に貢献した。

渡辺 憩(けい)君 背番号2 小中台ウイングス出身

2005年（平成17年）生まれ。小学校2年生の時、小中台ウイングス（現小中台JBC）に入部。主に捕手として活躍。中学時代は千葉市シニアに在籍。

高校2年秋ごろより3番として数多くの試合に出場した。好投手との評判の高い小宅投手とバッテリーを組み、チームの指令塔として優勝に貢献した。

朝日新聞の報道によれば決勝戦の仙台育英戦「1回、丸田の本塁打の後だ。1死後、3番渡辺憩は7球目を左前へ運び、4番延末は8球目に四球を選んだ。2死一、二塁から渡辺千之亮がしぶとく中前へ。2点目をもぎ取った。渡辺憩は“あの得点こそめざしてきた野球です”と語った。」序盤の加点で、優位な試合運びとなり優勝に貢献した。



安達 英輝 君 背番号13 真砂シーホークス出身

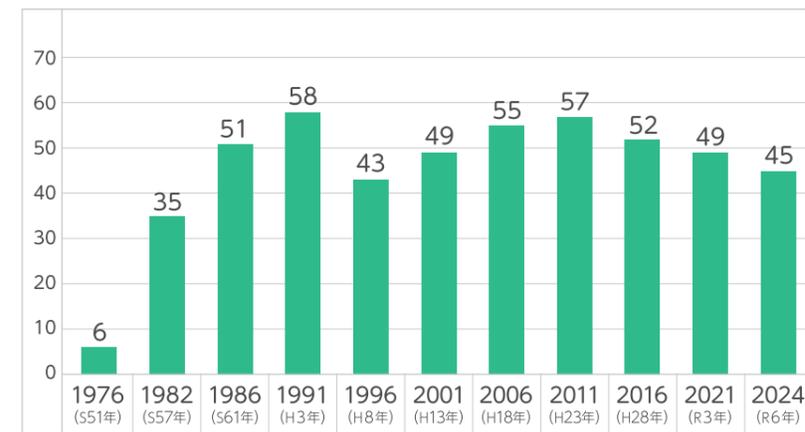
2005年（平成17年）生まれ。真砂シーホークスに入部。主に投手・内野手として活躍。中学時代は京葉ボーイズに在籍。

高校時代は、代打の切り札及び「ありがとうチーフ（盛り上げ役）」としてチームムードメーカー的存在であった。

朝日新聞の報道によれば、決勝戦の仙台育英戦「五回に慶応の代打で起用された安達が適時打を放ち、大量得点の流れを作った。この回、1点を追加してなお2死一、二塁の場面。“変化球を待っていたら直球で追い込まれた”4球目も直球。詰まりながらも中前へポトリと落ちた。“あそこは押せ押せて、もう打つしかないと思った”思い切りのよさが奏功した。ものすごい声援に“緊張する余裕もなかった”と笑顔で振り返った。」



加盟クラブ数 推移



1976-85

1986-95

1996-2005

2006-15

2016-25

最高の場所を常に提供したい (2) 教育リーグの試合 マリン初実施

2024年・令和6年

小中台JBC		京葉少年野球連盟 教育リーグ											平川ファイターズ									
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	R	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R		
菅原	岡田	榎原	吉中	増中	小原	中尾	小中台JBC	2	4	2	4	12	熊澤	岩澤	伊藤	徳福	士結	林枝	大	藤	士	田
							平川ファイターズ	0	0	0	0	0										
UMPIRES																						
PL	永島										B	S										
1B	増田										O											
2B	徳留																					
3B	岡崎																					
TIME 1:15																						

4月18日 千葉ロッテマリーンズよりZOZOマリンスタジアムでは6月8日・9日に空きが発生したため使用しませんかとの案内であった。この案内は、毎年年末に開催される日程調整会議の参加団体宛であった。日程調整会議は次年度のマリンスタジアムの使用日程を調整する会議で、千葉県社会人野球連盟・千葉県大学野球連盟・千葉県高校野球連盟・千葉市少年軟式野球協会・関東団地少年野球連盟千葉支部・京葉少年野球連盟から構成されている。

連盟役員で予算面などいろいろの諸条件を検討した結果、子供たちに「ビッグプレゼント」をしようという結論に至った。当連盟では1990年・平成2年 千葉マリンスタジアム開業した際に第14回春季大会で初めて使用したが、シーズン途中での使用は初めてのことであった。

6月9日開催とのことで、前週の試合編成会議の結果、Aゾーン1試合・Bゾーン2試合、教育リーグ1試合が決定した。Bゾーン・教育リーグの試合は、これまた始めて実施される。当日6月9日は天候にも恵まれ、スタジアム内では子供たちの元気な声やご父兄の皆さんよりの声援が響き渡った。



教育リーグでの試合は「平川ファイターズ対小中台 JBC」戦



小中台 JBC の榎原楓主将は、マリンの感想を「マリンスタジアムのグラウンドには、大会の開会式で入ったことがあり、そこでティボールをやったこともあった。それだけでもうれしかったけれどそこで試合ができるなんて夢にもおもわなかった。聞いたときはおどろいた。

試合が近づくとワクワクがましてきて、毎日天気を見ていました。今日の試合で夢の舞台に立つことができうれしかった。スコアボードに選手の名前がのってうれしかった。予定にはなかったアナウンスをやってもらえるとして、みんな興奮した。

「ぼくは、先発ピッチャーで今まで一番のピッチングができた。夢の舞台できんちょうよりワクワクがまさったからだと思う。全員試合に出れたし、試合にも勝てた。次の回を考えていたら試合終了の時間であつという間だった。またいつかマリンスタジアムのグラウンドに立ち、勝利をおさめたいです。」

また、平川ファイターズの平林郁織主将は「ぼくは、ZOZOマリンスタジアムで試合が出来ると聞いて、ドキドキがとまりませんでした。そして、テレビで何度も見ていたマリンスタジアムで野球が出来ると思うとワクワクしました。

スタジアムに入った時、会場の広さにとってもおどろきました。すごくきれいなグラウンドで野球が出来て気持ちが良かったです。そして、あこがれの佐々木朗希選手と同じマウンドに立ったことが、一番うれしかったです。次は、もっともっと練習をして自分の力でもう一度 ZOZO マリンスタジアムで試合がしたいです」と書いてくれた。



1976-85

1986-95

1996-2005

2006-15

2016-25